社会福祉法人　ひまわり　広報部発行　杵築市　ひまわり　検　索
0978-66-5500　http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念

・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基　本　方　針

・利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします。
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます。
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します。
・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します。
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます。

防災について

このたびの平成30年「台風21号」および「北海道胆振東部地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興をお祈りしております。我々社会福祉法人ひまわりにおいても一層防災意識を高め、平常時の災害への備えを強化する機会になりました。

今回は普段のひまわりの防災への取り組みについて再度紹介したいと思います。きつきの里デイサービスセンターでは南海トラフ地震に伴う、津波を想定した避難訓練を行っております。高台にある松栄保育園や三楽園デイサービスセンターまで車で避難していますが、利用者様約30名が無事避難するまで約20分掛かります。南海トラフ地震が発生し、津波が守江湾に到着するまで1時間掛からないと言われていますが、実際にはパニック状態になるでしょうし、車は混雑しますので少しでも避難時間が短縮できるように今後も訓練していきます。

そして特別養護老人ホーム瑞雲荘は入所施設であり、約60名の利用者に対し夜間は3～4名の職員の勤務ですので、火災などの災害時には地元の消防団や近所に住む職員の協力が不可欠である為、夜間の避難訓練を行います。また実際に消火器を使う訓練も行っております。今まで訓練を通じ、災害に備えたいと思います。

瑞雲荘供養盆踊り

新施設になって初めての盆踊りが行われました。当日は天候にも恵まれ、利用者様方は職員と一緒に盆踊りの輪に参加し笑顔で楽しまれていました。地域の皆様や多くの職員の協力のおかげで無事に開催する事が出来ました。ご協力ありがとうございました。来年も多くの参加をお待ちしております。

第 137号　社会福祉法人ひまわり　広報誌　ーひまわり梅桃ー　平成　30年　9月　20日

瑞雲荘

北海道在住の松田麗子様から瑞雲荘の利用者様方へお菓子が届きました。北海道と言えば先日の「北海道胆振東部地震」で甚大な被害が起こったばかりで、利用者様方からも「松田さんが無事で良かった。大変な時に申し訳ない。ありがとう。」との言葉がありました。こちらからも重ねて御礼申し上げると共に、北海道の一日も早い復興をお祈りいたします。

加藤栄養士のお気楽クッキング

この「広報誌ひまわり」を編集している在宅介護支援センターの高尾さんより「豚骨」を頂戴したので「豚骨ラーメン」をスープから手作りしてみました。寸胴鍋の中に豚骨を入れ、ねぎ、しょうが、にんにくと煮込むこと1時間。お店と変わらない、否、お店で感じる以上の豚骨匂が厨房を包みました。もはや「お気軽クッキング」の範疇ではありません。相当の覚悟がいるクッキングです。いや、クッキングというよりは作業ですね。恐る恐るスープを味見するとどうでしょう！濃厚な混じりっけなしの豚骨スープです！早速麺を湯掻き、チャーシューを乗せ、ラーメンの完成です。名付けて「ひまわりラーメン」商品化の予定はありませんが、高尾さんが豚骨を手に入れるルートが安定すれば、メニューとしてお出しできるかもしれません。

10月の福祉サービス相談委員巡回は、10月20日（土）の10時頃より三楽園デイサービスセンターにて木村相談員が行います。
※事前の連絡は必要ございませんのでお気軽にご相談下さい。

編集後記

朝夕がめっきり涼しくなり、日も短くなって、一気に秋めいてきた今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか？私はキリンビールの秋味と、さんまがあれば本当に幸せです。さて、きつきの里デイサービスセンターの敬老会で法話をさせて頂きました。実は私の母方がお寺で私も僧籍を取得しております。そこで今回は「般若心経」について書きます。般若心経は観音菩薩がお弟子さんに語り掛けるといった形式で構成されており、その内容を私なりに説明しますと、私たちの目に見るものや、手に取れるもの、さらには私たちが五感で感じるもの、心の中の動きはすべて実体は無く私たちの感じ方で如何様にも変化するものであり、私たちが感じる悩みや苦しみも実はそもそも無いものであるので、物事の或る無しや大小で不満を感じる必要はなく、心に拘りや、執着をなくし正しい眼で物事を観ることが大事であるというものです。しかし実際には私にとってこの拘らない事や執着をなくす事は難しく、拘らないと言いながら、拘っていたり、自分には関係ない、知った事かと無関心でいることを拘らない事と勘違いしたりと中々正しい目で観る事が出来ません。どうしても、常識的にそうだから正しいとか、大勢がそう考えているから悪いとか、法律で決められているからいけない事と決めつけて観ることも多いです。昨日、悪い事とされていたことが明日には良い事になっているかも知れません。拘らず、執着せず、正しい眼を持ち物事を観る事が出来るように精進を重ねていきたいなと思う秋の夜長です。

毎月二〇日発行　編集責任者　社会福祉法人ひまわり　高尾毅一

梅桃（ゆすら）

誕生日会

8月生まれの方の誕生日会を行いました。今回は高橋様より【高橋流】津軽三味線を披露して頂きました。日頃より地域の方々との交流を多く取り入れており、今回も多くの利用者様に喜んで頂くことができました。

衆楽観観劇

毎月の行事となっている衆楽観観劇に行きました。普段より見ることのできない芝居や踊りを、間近で見ることができ、「今度はいつ行けるかい」や「とってもおもしろかったがなぁ」など、多くの声もあがり今回も喜んで頂くことが出来ました。

ひまわりハウス

そうめん流し

残暑を吹き飛ばそうと8月24日にハウスでは初めてそうめん流しを行いました。机や竹を動かして準備していると「おぉーなんの準備をしよんかえ～」「そーめん流すんかぇ～」と期待の声が飛び交い皆さんの期待の高さが伺えました。準備も整い開始すると、そうめんを流す為の水道の水圧が低く中々そうめんが流れません。さっそくのトラブルです！「あれー流れてこんよ～」と周りからも声があがっていました。急いで原因を確認し、何とか直すことができました。「きたきたきたぁー」と皆様一斉にお箸を構えました。そうめんと一緒にさくらんぼやミカン等、果物も一緒に流し「おぉーとれた！」「果物もあるで。下にいったよ、取って取って」と大盛り上がりでした。来年もまた、夏を感じることができる行事を考えますので是非！お楽しみに！

お月見団子づくり

朝晩涼しくなり、過ごしやすい季節になりました。9月といえば中秋の名月ですね。利用者様と風情を味わう為にお月見団子づくりをしました。「昔はこんなんじょうーしよったなー」「楽しいなー」と立ち上がってこねてくださる方もおられ、かぼちゃ入りの団子とお供え用の団子を作りました。「綺麗にできたわー」「早く食べたいわー」と皆様笑顔で喜ばれていました。ススキとお月さまも一緒に飾り、情緒あるひまわりハウスになりました。また、皆様と一緒に作った団子はいつもより美味しく感じました。ちなみに、月のない新月から満月まではおおよそ15日かかることから満月の夜を「十五夜」と呼びます。「中秋の名月」はかつて月を愛でる宴として貴族が楽しむものでしたが、この時期は収穫期と重なることから、やがて豊作を祈る行事として庶民に広まり、お月見として定着しました。以上、豆知識でした。お手伝いくださった皆様、ありがとうございました。

きつきの里デイサービス

納涼祭

残暑を吹き飛ばそうと納涼祭を行いました。お菓子を釣り上げる釣りゲームに始まり、20本のひもの中から1本引いてもらい、紐の先に品物が結ばれていて、何を引くのか引いてみないとわからないという、運試しゲームをしてもらいました。庭ぼうきを当てた方は「こりゃ、さっそく使えるなあ、有難う。」と喜ばれ、ティッシュ5箱組を当てた方は「あぁー大当たりじゃなあ、うれしい」とおっしゃっていました。そしてスイカ割りを行い、最後はお祭りならではの神輿が繰り出され利用者様も「ワッショイ！ワッショイ！」の掛け声に合わせてお祭りが一気に盛り上がりました。神輿はこの日の為に職員が手作りしたもので、利用者様も「よう作っちょるなあ」と言って下さいました。参加下さった皆様有難うございました。

敬老会

恒例となっている敬老会を開催しました。シンクロナイズドスイミングや法話、劇にコントと盛りだくさんの内容で利用者様方は皆楽しまれていました。

三楽園デイサービス

手芸

三楽園では今、折り紙を使用しての手芸が流行っています。花飾りはもちろん、傘制作も流行っております。皆さん一生懸命に折られ、完成すると「これはどげえかい」「次小さいのも折ろうか」等意欲的に折られる方が多く、楽しまれています。

敬老御膳

三楽園では毎年敬老の日に敬老御膳をお出ししています。お刺身や茶碗蒸しが付き、ノンアルコールビールやジュース等も付いています。「このお御馳走が楽しみや」「今日の刺身は何の魚やろか？」と食事前から楽しみに、会話されています。食事の時でも、「毎日こんな御馳走やったら良いんやけどなあ」「日頃こんな御馳走食べる事がなかったから良いわあ」と皆さん大変満足されていました。中には、「次いつするんかえ」「今度来た時は御馳走あるんかえ」と複数回利用されている利用者様からは次回ご自身が来所される日が敬老御膳かの確認をされるかたもいらっしゃいました。また来年も皆様と頂きましょう。